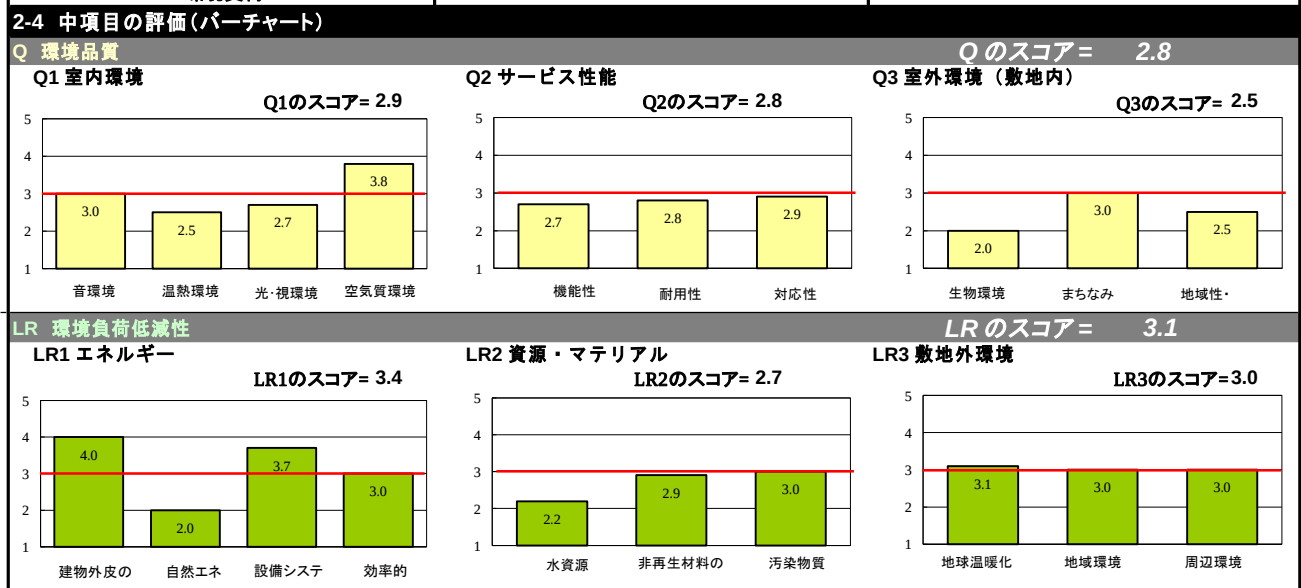
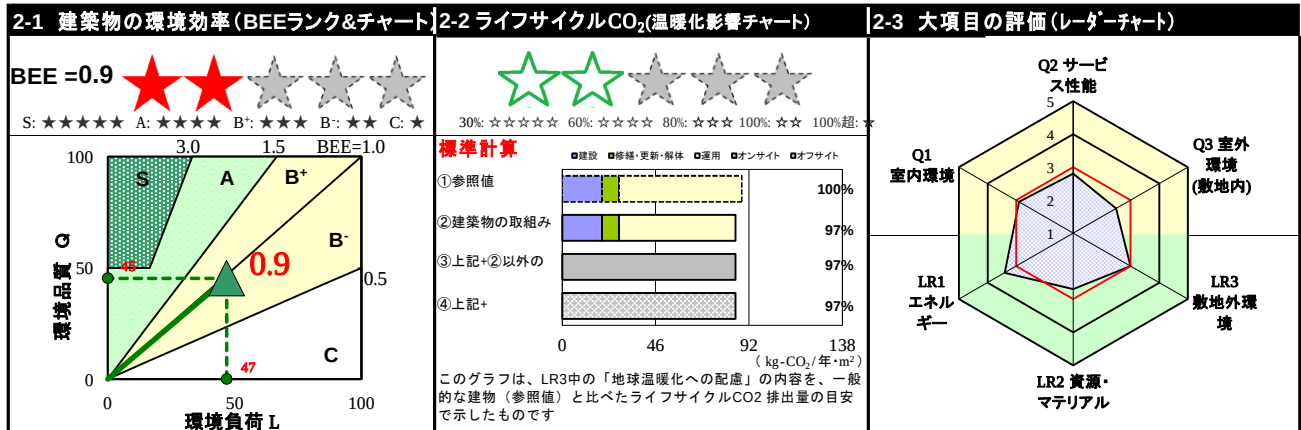
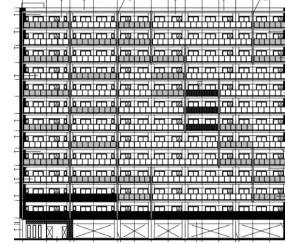


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	AD南金田1丁目PJ 新築工事	階数	地上10F
建設地	吹田市南金田	構造	RC造
用途地域	準防火地域、第一種住居地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年7月28日
敷地面積	1,707 m ²	作成者	出口 聡
建築面積	574 m ²	確認日	2025年7月30日
延床面積	5,061 m ²	確認者	出口 聡



3 設計上の配慮事項		
総合 ・周囲の街並みに調和する色調とした。		その他 特になし
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染の回避に努めた。	Q2 サービス性能 ・特になし	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地を設け、景観性に配慮した。 ・防犯カメラを設置し、敷地周りに視線を遮るような高い塀等は設けないことで防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー ・LED照明を採用し省エネルギーに努めた。	LR2 資源・マテリアル ・置床ユニットを採用し、建物更新時にのし易さに配慮した。	LR3 敷地外環境 ・緑地を設け、地表面の温度上昇の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】		建物名称		AD南金田1丁目PJ 新築工事						
		建設地		大阪府吹田市南金田						
		用途／区分		集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価							Bー	
①		CO2削減							3	
②		みどり・ヒート アイランド対策							3	
③		断熱性能							4	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分						4	
④		エネルギー消費性能							4	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分						1	
				評価対象外					評価対象外	
⑤		自然エネルギー直接利用							—	
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
				太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告				対象外
-------------	--	--	--	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	4.0	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	3.7	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		